

価値創造を加速させる 東邦チタニウムの経営資源

2023年3月末時点

東邦チタニウムグループは人と技術の力で、70年にわたり着実に経営資源を強化してきました。成長の基盤を形成するこれらの資本は、当社グループの競争力優位性を生み出す源泉であり、持続的な企業価値の向上を実現します。

外部評価



ESG投資指数
「FTSE Blossom Japan Index」の構成銘柄に初選定

世界最大級の機関投資家である日本の年金積立金管理運用独立行政法人(GPIF)が採用する代表的なESG指数「FTSE Blossom Japan Index」の構成銘柄に初めて選定されました。(2023年6月)




EcoVadis社の
サステナビリティ調査で
「ゴールド」評価を獲得

当社はEcoVadis社(本社:フランス)のサステナビリティ(持続可能性)評価において、『ゴールド』に格付けされました。(2021年7月)

財務資本



総資産
111,429 百万円

自己資本比率
47.7 %

時価総額
2021年度末→2022年度末
51.5 %UP

売上高
2021年度末→2022年度末
44.7 %UP

事業を支える財務基盤

当社グループは、事業領域ごとに常に最適な財務ポートフォリオへの見直しを図っており、健全な財務体制の維持に努めています。
2025年の中期目標(ROS11%以上、ROE13%以上、ROIC7%以上、配当性向25~30%)を達成し、株主還元の実現を図ってまいります。

人的資本



従業員数(連結)
1,127 名

女性採用率
22 %

新規大卒定着率(5年後)
96 %

社会課題の解決を実現する 多様な属性の人材基盤

職場環境下での安心・安全・健康の確保に努めるとともに、従業員が公平かつやりがいをもって働けるよう取り組みを行っています。また、女性管理職や外国人管理職などを強化し、多様性・包摂性に配慮した職場環境を実現します。

製造資本



生産拠点数
6 拠点

国内 5 / 海外 1
茅ヶ崎 / 若松 / 八幡 / 日立 / 黒部 / サウジアラビア

設備投資額(年間)
6,496 百万円

高品質なものづくりと 国内外に展開する生産拠点

当社グループは製品の品質の安定生産を常に心がけたものづくりに取り組んでいます。海外含めて複数の生産拠点を展開することで、あらゆる地域のニーズに応える体制を整えています。2023年度は、各事業部の次期設備投資計画を進めるため、立地を含めた検討に着手しています。

社会・ 関係資本



創業年数
2023年8月20日 **70** 年

海外販売国数
金属チタン事業 / 触媒事業 / 化学品事業
8 / 9 / 6 カ国

原料調達国数
7 カ国以上

ステークホルダーからの安定・信頼と 持続可能なサプライチェーンの構築

継続操業による安定と信頼が、グローバルな事業展開を可能にしています。多様な顧客、サプライヤーとの信頼関係によりサプライチェーンを構築しており、新たな市場開拓を見据え、外部パートナーとの共生・共創も目指していきます。

自然資本



エネルギー使用量(電気・年間)
473,570 MWh/年

水使用量(年間)
2,343 千m³

資源の効率活用による 環境負荷低減

あらゆる資源には限りがあることを認識し、資源の節約と再利用、リサイクルなどの促進を通じて資源利用の削減を図ります。また、CO₂フリー電力やカーボンニュートラル都市ガスの導入を進めると同時に、チタン製錬によるGHG排出量削減目標を設定し、バリューチェーン全体を通じた環境負荷低減に取り組んでいます。

知的資本



特許保有件数
国内 **336** 件

海外 **364** 件

研究開発費(年間)
23 億円

独自技術と新たな事業創出・ 拡大につなげる技術基盤

事業戦略の一環として、当社独自の技術と研究を推進しています。2023年度は新素材事業部を設置。チタン多孔質体WEBTiは、高い耐食性などの利点を持つチタンに金属多孔質体の特徴を組み合わせた画期的な新素材です。さらにこれに続く新素材開発に注力しています。